

20241022現在（案）

# 第3次山陽小野田市食育推進計画

## 元気いっぱい ねたろう「食育」プラン



山陽小野田市食育キャラクター  
ねたろう食育博士



令和7年3月

# 目次 CONTENTS

## 第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間及び評価
- 4 計画策定の体制

## 第2章 山陽小野田市の食をめぐる現状と課題

- 1 山陽小野田市の概要
- 2 これまでの取組と全国的な食をめぐる変化
- 3 山陽小野田市の食の現状と課題

## 第3章 山陽小野田市における食育の方向

- 1 基本理念
- 2 山陽小野田市の食の重点施策

## 第4章 山陽小野田市の食育推進の目標

- 1 目標指標と目標値

## 第5章 山陽小野田市の食育の総合的な推進

- 1 家庭における食育の推進
- 2 学校、保育園等における食育の推進
- 3 地域における食育の推進
- 4 食育推進運動の展開
- 5 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
- 6 食文化の継承のための活動への支援
- 7 食品の安全性に関する情報提供等

## 第6章 山陽小野田市食育推進計画の推進体制について

- 1 市における食育推進体制について
- 2 食育推進のためのネットワークづくり

## 資料編

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

「第3次山陽小野田市食育推進計画」の策定は、国や県の食育推進に関する取り組みを踏まえ、山陽小野田市における食育の総合的かつ計画的な推進を目指すものです。

近年、少子高齢化や世帯構造の変化などの社会の変化により、家庭環境が多様化し、家庭や個人の努力だけでは健全な食生活の実践が困難な状況が生まれています。また、食品ロスや食品の安全性など、食に関する課題も依然として存在します。

国や県では、健康寿命の延伸や食の循環、環境への配慮などを柱とした食育の重点課題を掲げ、取り組みと施策を推進しています。

このような背景のもと、山陽小野田市では、前回の食育推進計画を踏まえ、本市における食育の総合的かつ計画的な推進を進めるために「第3次山陽小野田市食育推進計画」を策定することとしました。

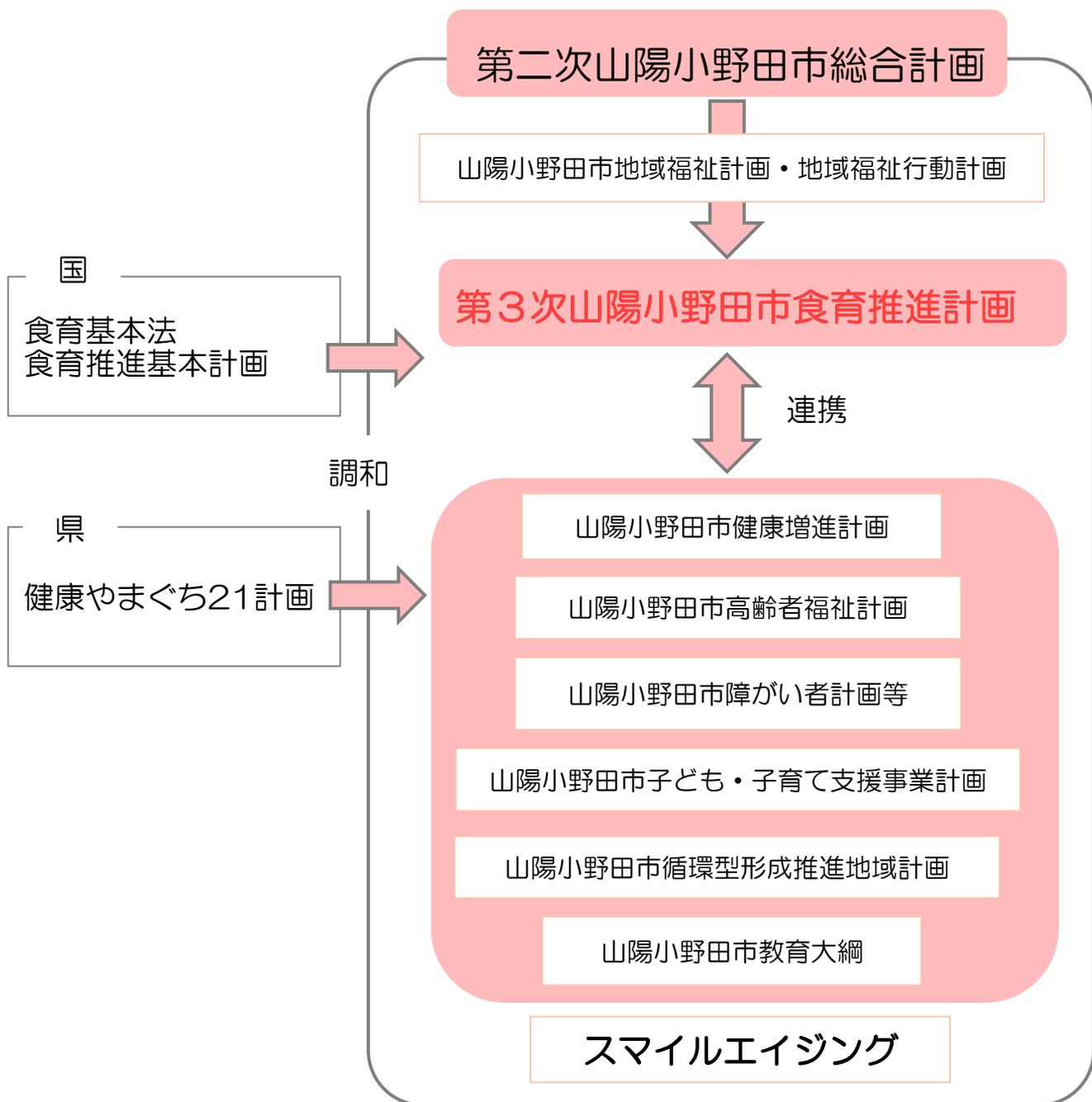
本計画の目的は、市民の健康づくりや食に対する正しい知識の普及、食育環境の整備、地域の食文化の継承などを通じて、市民が健康で充実した生活を送るための基盤をつくり、地域社会の発展に寄与することです。

具体的には、市民の食育に関する意識や能力の向上を図り、食の安全性や地産地消の推進、食生活の改善などを重点課題として取り組むことで、市民が健康で持続可能な食生活を実践できるよう支援します。

さらに、学校や保育所、地域の施設などの食育環境の整備にも取り組み、専門人材の育成や情報発信体制の充実を図ることで、持続可能な食育の推進を図ります。

以上の取り組みにより、山陽小野田市は、地域の特性や課題に応じた食育の推進を進め、市民の健康づくりや食の課題の解決に貢献することを目指します。

## 2 計画の位置づけ



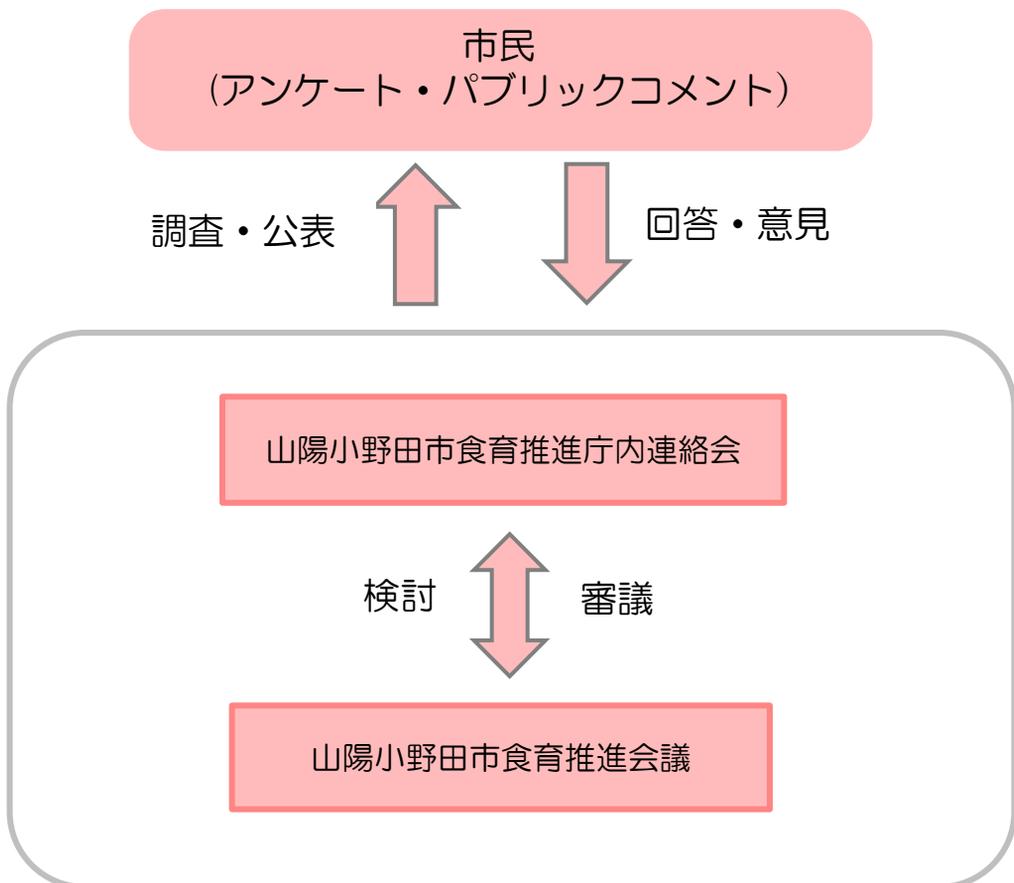
## 3 計画の期間及び評価

この計画の期間は、令和7年度(2025年度)から令和13年度(2031年度)までの7年間とします。

評価については、中間評価を令和10年度(2028年度)、最終評価を令和13年度(2031年度)に実施します。また、計画の見直しが必要な場合は、期間中においても検討します。

## 4 計画策定の体制

- (1) 山陽小野田市食育庁内連絡会での検討  
庁内関係各課の代表により、幅広い見地から検討を行いました。
- (2) 山陽小野田市食育推進会議での検討  
学識経験者、生産者、幼稚園・保育園や学校関係、地区組織から参画を求め、幅広い見地から市民や関係団体から本計画策定に当たり意見聴取を行い検討を行いました。
- (3) 広く市民から意見を聴取するための取組  
市民ニーズを十分に踏まえながら多様な意見を反映させるため、市民の食生活や食育に対する現状を把握するためのアンケート調査を行うとともに、計画に対する市民意見公募(パブリックコメント※)を実施しました。



## 第2章 山陽小野田市の食をめぐる現状と課題

### 1 山陽小野田市の概要

#### (1) 地勢

山陽小野田市は、山口県の南西部に位置し、下関市、宇部市、美祢市と接しており、南北が約20km、東西が約15km、総面積は133.09km<sup>2</sup>です。

海岸線一帯はほとんど干拓地で、市内中央部には厚狭川、有帆川が流れ、瀬戸内海に注いでいます。

市街地を取り囲むように、丘陵部の里山や河川、干拓地に広がる田園地帯、海などの豊かな自然のほか、森と湖に恵まれた公園、海や緑に囲まれたレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。



#### (2) 人口と世帯

## 2 これまでの取組と全国的な食をめぐる変化

# 第2次山陽小野田市食育推進計画最終評価結果

### 3 山陽小野田市の食の現状と課題

市の食に関する現状を把握するため、市民を対象に意識調査を実施しました。

#### (1) 調査の概要

対象	20歳以上の市民
配布数	3,000(無作為抽出)
調査方法	郵送にて配付
回収数	1,211 (回収率40.3%)
調査期間	令和6年6月1日(土)～6月30日(日)

対象	市内小学5年生、市内中学2年生
配布数	小学5年生(501)中学2年生(488)
調査方法	学校にてタブレット端末を活用して実施
回収数	小学5年生489(回収率97.6%) 中学2年生419(回収率85.9%)
調査期間	令和6年6月1日(土)～6月30日(日)

対象	市内高校生
配布数	市内高校(1139)
調査方法	学学校にてタブレット端末を活用して実施
回収数	高校生854(回収率75.0%)
調査期間	令和6年6月1日(土)～6月30日(日)

## (2) 調査の結果(抜粋)

## 第3章 山陽小野田市における食育の方向

### 1 基本理念

第二次山陽小野田市総合計画の将来都市像である「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向け、「スマイルシティ山陽小野田」のキャッチフレーズのもと、本計画を推進することで、食を通じて笑顔が広がるまちを目指します。そのためにも、歴史・産業・教育・文化・自然といった地域資源など、本市の特性を活かしながら、市民一人ひとりが食に関心をもつこと、食を切り口として市民や関係団体がつながることで「協創」によるまちづくりを推進し、健やかな身体と豊かな心を育むことが必要と考えます。

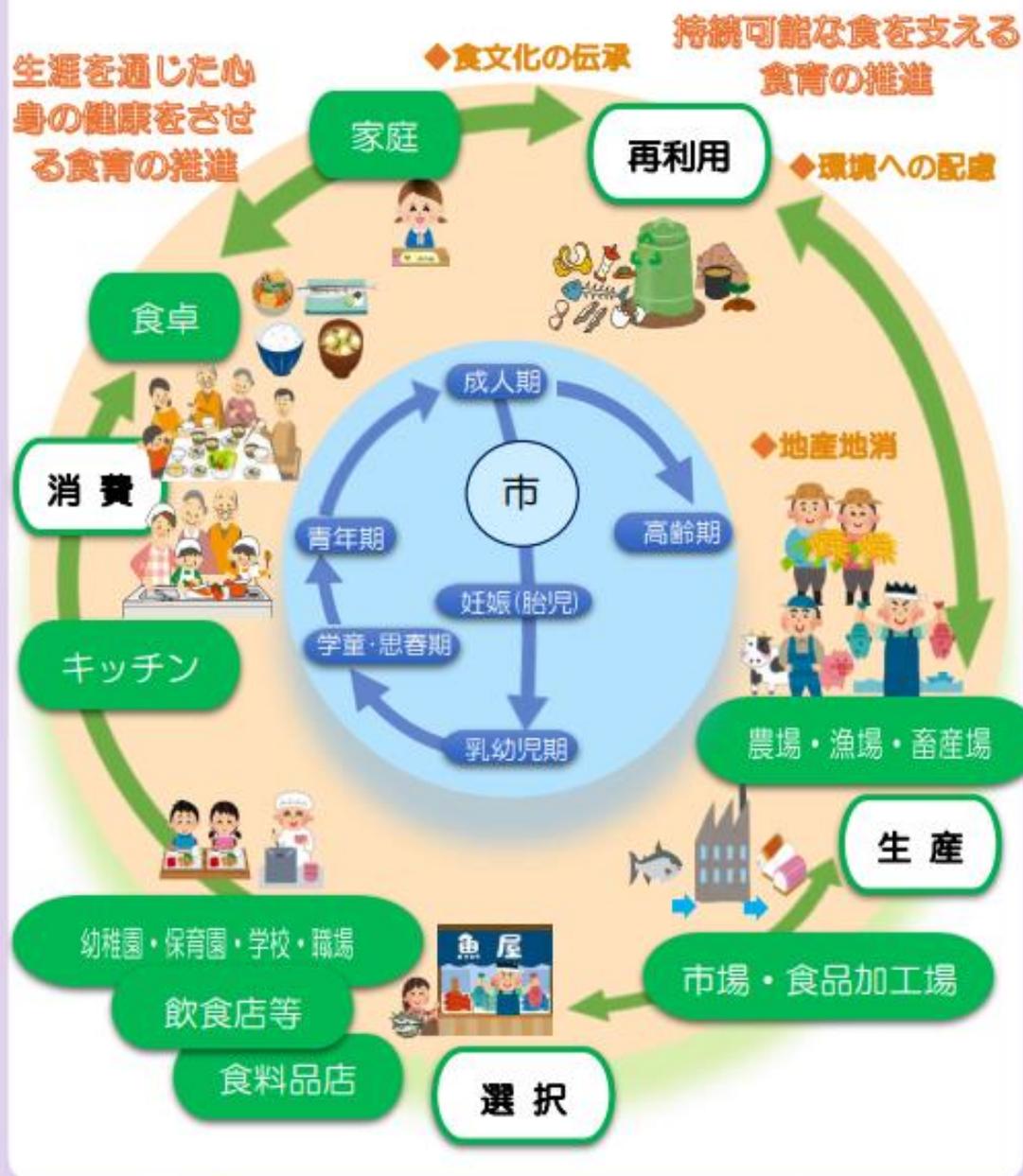
本計画においては、子どもからお年寄りまで、全ての市民が住み慣れた地域で希望をもち、健やかに暮らせるよう、ライフステージごとの食課題に応じて、家庭、学校、地域等が連携を図り、若い世代から主体的に食育に取り組む環境づくりの実現を目指していきます。また、食育に特化した産学官の連携による新たな人材育成や農林漁業の発展を目指して、基本理念を次のように設定します。

#### 基本理念

食でつながる ひとづくり まちづくり

また、基本理念のイメージを次のように表現します。

# 基本理念のイメージ



## 地域とのつながり

(生活の場での交流や食の情報)

関係団体・ボランティア等による食育の場

歴史・産業・教育・文化・自然



## 2 山陽小野田市の食の重点施策

生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

持続可能な食を支える食育の推進

- 地産地消
- 環境への配慮
- 食文化の伝承